

秘

昭和八年五月十日
衛生業務旬報

混成第十四旅團司令部

承知致ニ度未發送ナラハ至急發送ヲ取り計ニハシ度照會
 区之レニ對シ五日倉庫長ヨリ関倉電一〇八、二日貴電答
 関啓ニハ三(赤痢後消毒)三〇五(アース外五尖)、公公佐藤

看護長等令シ五日日出發三二四(豫防接種液)ノ分送具
 隊移動中ノ急發送見合セテ所五日七日に有効期限
 経過ノ為再請求申上ト返電アリタリ係ツテ直々ニ次如
 ク折り返シ依頼シ置キタリ「関倉電」ハ拜見御座處
 ヲ謝スニ関啓之三四接種液到着次第至急送付方御
 座處ヲ乞フ、

二月三日朝陽支庫ニ書類ニテ請求シタル五月分事務亦用
 衛生材料並ニ保健防疫用材料ハ情況急變ニ旅團ハ近
 ノ(熊本方面)ハ急變ニシテ至急送付ニ急務ニシテ三二四接種液

ヲ以テ急送ニ關シテ、如ク座置ニタリ朝陽支庫長候
 情況急變ニシタル付、四月三日現一四旅團ニハ五ヲ以テ請求
 シタル五月分事務用衛生材料及保健防疫用材料中
 事務用衛生材料器械藥物消耗品全部ハ此地ニ出張
 中ノ當旅團ノ自動車班ニ託シ保健防疫用材料ノ約半
 量ハ成ルル速クニ送付スルル計ニハシ度

旅團自動車班五本中尉宛情況急變ニシタル付左記衛生
 材料ヲ累積運搬セラル度内容ハ書類ニヨリ朝陽
 支庫ニ要求シアル事務用衛生材料器械藥物消耗
 品全部トス
 又凌源関東軍自動車隊宛情況急變ニシテ要スルヨリ當
 旅團ヨリ関東倉庫朝陽支庫ニ請求シタル衛生材料
 ヲ成ルル速クニ輸送ヲ取り計ニハシ度

四

右ヨリ旅團自動車班八隊定ノ運搬荷物ヲ變更シテ
 自動車五台ニ五月分衛生材料ニ九梱夏季保健防疫用
 材料ニ九梱計一八梱包ヲ積載シ四月廿一日午後一時平泉ニ到着
 メリ依ツテ保健防疫用材料八梱包ヲ在平泉部隊ニ
 分配シ衛生材料ニ九梱及保健防疫用材料ニ七梱ヲ
 喜峰口衛生班ニ輸送シ在喜峰口各隊ニ分配シ保健
 防疫用材料四五梱輸送方ノ關係上平泉ニ残置シタリ
 3. 四月二十日奉天ニ出張シタル衛生班在班在隊看護長ヲシテ
 五月分衛生材料ヲ奉天倉庫ヨリ受領シ隊下領シテ歸
 ルヘク命ジ置キタル所其ノ後軍軍醫部ヨリ材料
 八總テ朝陽支庫ヨリ受領セヨトノ通牒ヲ受ケタルヲ以テ
 其ノ手續ヲナスト共ニ一方在隊看護長ニ其ノ旨電報ニシ
 ルモ 五月三日在隊看護長ヨリ爾後ノ

送リ奉天ニテ受領シタル材料ノ一部ヲ朝陽支庫ニ預メ
 途牛車馬ノ都合ヨリ一部ヲ朝陽支庫ニ預メ、
 トノ電報ヲ受領セリ次ノ五月八日在朝陽在隊看護長
 ヨリ奉天ヨリ衛生班ニ奉天倉庫ヨリ材料八總何ニスヘキト照
 會シ奉天ヨリクハラ以テ輸送方等ヲ慮慮シ朝陽支庫
 沖田藥劑店宛行ハ、
 度首依頼シ置キタリ、
 4. 旅團司令部軍醫部ヨリ直接部隊ニ補給シタル材料
 次、如シ

五月廿六日ハ、第五中隊ニ補給セルモノ
 編帶包一五、
 日弁来クニ包一五、
 健胃錠五、
 同日歩ニ六ノ機關銃隊ニ補給セルモノ

錠五〇

六 給水ノ状況

特ニ記スヘキモノナシ

六 氣象ノ状況

六日頃ヨリ暑氣劇クニ増加シ晝間最高三十三度ニ達シ冬服
 三ノハ堪ヘ難キ状況トナリタルヲ以テ急キ夏服ト更衣シタリ
 サレト朝夕殊ニ夜間ハ尙ホ冷氣ヲ留覺セル程度ナリ旅團
 司令部ニ於テ測定シテ原温表次ノ如シ

月日	天候		測定時分		月日	天候		測定時分	
	最高	最低	午前	午後		最高	最低	午前	午後
一日	一五.〇	一〇.〇	一一.〇	一〇.〇	六日	九.〇	二七.〇	一一.〇	二二.〇
二日	一〇.〇	一三.〇	八.〇	一〇.〇	七日	一〇.〇	三四.〇	一一.〇	二七.〇
三日	九.〇	一八.〇	八.〇	一〇.〇	八日	一六.〇	三〇.〇	一一.〇	一九.〇
四日	一〇.〇	一七.〇	八.〇	一〇.〇	九日	一五.〇	二八.〇	一一.〇	一六.〇
五日	八.〇	一三.〇	一一.〇	一〇.〇	十日	一四.〇	三〇.〇	一一.〇	一九.〇

六 防疫及衛生ノ状況

1. 旅團、警備隊、區域内ニ於ケル健康ヲ斷斷
 花要領ヲ別冊ノ通り制定シテ五日各隊醫官ニ通牒シ検
 査ニ関スル實施要領ヲ示シタリ
2. 夏冬衛生防疫ニ関スル實施要領ヲ別冊ノ通り制定シテ各
 混血旅團ニテ五日ヲ以テ各隊長ニ通牒シ依命ニ實施ヲ要
 望セリ
3. 補充員ニ對シテ法洲痘苗四月三十日到着ニ各隊ニ分配
 各隊ハ概シテ種痘ヲ終了セリ
4. 豫防接種ノ衛生材料ノ現狀ニテ如クノ接種液到着
 セアル迄未ク實施スルニ至ラサルハ防疫上甚ク遺憾トスル
 處ナリ

七 其他必要ト認ムル事項

ノ當林園衛生班ニ担架隊ノ配屬ナリト爲傷者ノ收容ニ就
 テハ常ニ遺域ノ感シテノリトクノハテラス今四ノ誠傷ハ
 山也ニシテ道路悪シク車輛ノ運行衰、如クナリテハヘテラ
 豫想シテ爲今回衛生班ニ次、如ク人員材料ヲ臨時ニ
 配屬シテ担架隊ヲ編成セシメ患者担送ノ準備ヲナス
 ヘク命セラレタリ但シ編成スヘク担架教ハ班長ニ任セ
 ラレタリ。

甚カ

五〇名

監視夫

一名

通譯

一名

担架

四具

ニ者、水ヲ潤澤シ、ニ後給スル目的ヲ以テ、カ、リ、ニ空罐ヲ利
 用シテ約三升入支那式湯沸器ニテ八個ヲ試作スリ

牛ノ二六

各六個

牛ノ八

三個

針砲

一個

衛生班

林園司令部

三個

計

二一〇個

3. 野砲兵第六大隊第五中队上等者護兵胸膜炎ニテ入班
 後送セラレタリ以テ五月八日衛生班ヨリ一等看護夫ヲ當分
 間臨時同隊ニ配属セラレタリ。
 八ノ意是ナシ。

混成旅第一四旅團茲云娼妓酌婦健康診断官を要領

一 旅團、警備區域外(滿鉄附屬地ヲ除ク)ニ於テ營業禁止スル處云

二 本健康診断ハ軍隊防疫上ノ必要ヨリ實施スルモノトス

三 可モ人權ニ關スルモノナリ以テ慎重ニ實施スルハ勿論良ク

憲兵又ハ警察官ト協議シテ進退漏ナク期スルモノトス

四 健康診断ハ旅團司令部附屬正(旅團司令部所在地

外ニテハ其地高級隨官)ノ指示スル隨官ヲシテ實施セシムル

五 健康診断實施回数ハ憲兵又ハ警察官ト協議上定ム

六 一般検査ハ毎月一回局部検査(檢査)ハ毎週一回以上

檢査ニ關スルモノトス

檢査ニ關スルモノトスハ檢査隨官憲兵又ハ警察官ト協議

ノ上炭ルモノトス

五検査(醫官ハ健康診断ノ結果疾病ニ罹リ緣業ニ堪ハサルモノ又ハ傳染性疾病ヲ有スル者ヲ發見シトル時ハ其旨憲兵又ハ警察官ニ通報スルモノトス

六検査(醫官ハ藝妓酌婦健康診断簿(別紙様式第二)ヲ備ヘ検査毎ニ所見ヲ記入捺印シ後症ニ資スルモノトス
七防疫ノ必要上藝妓酌婦ハ健康診断受検票(別紙様式第三)ヲ各人毎ニ常ニ携帯セシメ客ヲ求メヨリ提示セシムルモノトス

検査(醫官ハ健康診断)實施ニ毎ニ健康診断受検票ニ疾病ノ有無(有病者ハ病名ヲ記入ス)ヲ記入捺印シ之ヲ本人ニ交付スルモノトス
八検査(警察官、衛生官、消防官、衛生官、警察官、衛生官ニ検査)

成績表(別紙様式第三)四通ヲ添ヘ旅團司令部附軍醫正ニ提出スルモノトス

九不健康者ニ対シテハ樓主ヲシテ速クニ治療ヲ受ケシムル如ク指導スルモノトス但シ地方ニ適當ナル診療機關在ラザル場合ニ於テハ關東軍地方民ヲ治療實施要領ニヨリ治療ヲ實施シ防疫ニ資スルモノトス
一〇妓樓ニ於ケル花柳病豫防施設ニ就テハ未得ル次第備マシムル如ク指導スルモノトス

以上

月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	券 號
					業 體
					屋 號
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	名 氏
					年 月 日 生

(参考法見)

娼妓取締規則

第二條 娼妓名簿ニ録セラレタル者ハ娼妓稼ヲナスコトヲ得ス

娼妓名簿ハ娼妓所在地所轄警察官署ニ備フルモノトス

娼妓名簿ニ登録セラレタル者ハ取締上警察官署ノ監督ヲ受クルモノトス

第三條 第三項

娼妓名簿登録申請者ハ登録前廳府縣令ノ規定ニ從ヒ健康診斷ヲ受クベキモノトス

第九條 娼妓ハ廳府縣令ノ規定ニ從ヒ健康診斷ヲ受クベシ

第十條 警察官署ノ指定ニシテ醫師又ハ病院ニ於テ疾

ニ埋没スルコト

三井ノ秤、釣瓶等ヲ設クルコト

片ノ周圍ニ高サ約一尺位ノ壁秤(井ノ秤)ヲ設ケ汚水ノ流入ヲ防グコト、高木釣瓶置付ヲ設ケ釣瓶ノ汚染ヲ防グコト

四生水ノ飲用ヲ絶對ニ禁スルコト

生水ノ飲用ヲ禁スル為ニハ煮沸水ノ供給ヲ要シ、煮沸水ノ供給ニハ各隊ハ沸水車ヲ携行シ居ルモノ、シテ空罐ヲ應用シテ支那式湯沸器ヲ新製シ概ネ各分隊ニ一個宛ノ割合ニ分配スルヲ以テ宿營、行軍、對陣、閣下ニ携行シ分隊毎ニ煮沸水ノ供給ヲ要シ、衛生水ノ供給ヲ絶對ニ禁止セシムルコト、此ニ行

動機ニシテ、衛生ニ止マラズ、他ノ場合ニ於テハ汚水、尿、糞、ス使用セシムルコト、コレオソト丸ヲ飲メハ生水ヲ飲ムトモ差支ナシト考フルモノアルモ誤解ナリ、注意セシムルコト

五野菜ノ消毒ヲ勵行スルコト

炊事ニ於テ使用スル野菜類ハ、ソダ、石灰水(漂白剤)水ヲ以テ消毒スルコト、但シ消毒後ハ充分洗滌スルコト

六豆腐、油揚、蕪餅、半乾、貝類、卵、子、燒、魚、肉、生、肉、等ノ使用ニ就テハ、拭官ニ於テ食中毒豫防ニ關シ充分注意スルコト

七胃腸病ノ疾病ヲ飲食スルハ最モ危険ナリ、長クテ、注意シ、臭臭ヲ放テ、變敗ノ徵アル物ハ、絶對ニ飲食セサルコト

便所ニハ用便ノ都度石灰末ヲ撒布スルコト蠅産卵ヲ防ギ塵芥溜ニ堆積セル汚物ニ廻りテ以テ上郊外ニ撒出シ燒却スルカ又ハ地下ニ尺以下ニ埋没スルコト、

塵芥溜ヲ掃除シタル跡及其周圍ハ其都度土ヲ掘リ返シテワクレシ熱湯、片膠油、石油乳劑、石灰末等ヲ撒布シテ蛆及蠅ヲ殺スト、便所ノ周圍ノ土砂モ二週一回掘リ返シワクレシ等ヲ撒布スルコト、

2. 成虫即チ蠅ノ撲滅法
成虫即チ蠅一足ヲ殺スハ蠅萬兆ヲ殺スト同様トナルヲ以テ好メテシレテ捕獲殺滅スルヲ要ス、即チ蠅敵キ、蠅取り紙、蠅取りリボン等ヲ用キ又ハ今洋蠅取り粉ガノリン邊土殺菌剤等一トニ、除虫菊等ノ噴霧剤又ハ燻煙

シテ、蠅ヲ殺スルコト、
飲食食物ニ蠅ノ接觸スルヲ防グ法、

以上如ク蠅ノ撲滅ニ努ムト難モ尚ホ剩餘ハ困難ナルヲ以テ飲食食物ニ蠅ノ接觸スルヲ防グコト所要ナリ之レカ爲成シ得レハ炊事場等ノ窓ニハ金網又ハ紗布ヲ張り出入口ニハ繩暖簾竹簾、珠ニ黒色布ヲ通路ニ交互ニ三枚張り等ノ方法ヲ講シ又食物食器等ニハ蠅覆ヲ具スルヲ可トス

- 二 南京虫、蚤、驅除ヲ勵行スルコト
- 三 熱河特異ノ黄塵、飛揚ハ夏季ニ於テ一層激烈トナルヲ以テ竹簾、暖簾、ヨシクテ使用ヲ適切ニシ食事前、就寝前等ニ於ケル食器、洗面、手指ノ洗滌、被服、塵芥除去等ヲ勵行セシムルコト

三下痢スル者、殊ニ赤痢ノ疑ヒル者ハ速カニ受診セシメ大事ニ至ラサル中ニ撲滅スル如ク努ムル要アリ、恙州赤痢ハ輕キ者ト重キ者ト慢性ニシテ一生痊愈ヲ癒セサル者トノ三種アリ、輕キ者ハ数回ノ下痢血便ヲ能シヒマシ、強ノ頓服ヨリ六三日ヲ過シ癒スルモ此ノ際防疫ヲ嚴重ニ實施セサルニ速カニ蔓延シテ檢集スヘカラサルニ至ルヲ以テ初發時ニ於テ我レ人共ニ注意スルヲ要ス、

四傳染病逸者發生スル時ハ概テ速ニ退スルヲナク部隊携行セル消毒藥ヲ以テ初期ノ中ニ充介ス消毒法ヲ實施シ病毒ノ撒漫ヲ防止シ全力ヲ盡スコト

五駐留久シキニ互ル場合ハ其地最高指揮官ニ於テ憲兵警備官、地方官、公吏等ヲ含ム衛生委員ヲ結成シテ以上各項中地方官ニ於テ實施ヲ要スル事項ヲ勵行

セシムルト共ニ左記ノ事項ノ勵行ニ努ムルコト

一 地方ニ於ケル民衆ノ衛生思想ノ向上、衛生施設ノ改善ニ努ムルコト、

二 民間販賣ノ飲食品ヲ監視スルコト、

三 人口調査ヲ勵行シテ病人ノ狀況ヲ知ルニ努ムルコト、

四 死亡者ヲ届ケ出テシムルコト、

五 死亡者ノ狀況ヲ聽取シ要スルハ單體ヲシテ檢診セシムルコト、

六 民間ニ傳染病逸者發生シタル場合ニ於ケル消毒法ノ實施注意者ノ隔離等ヲ勵行スルコト、

三以上各埠ニ亙リ夏季衛生防疫ニ関スル實施要領概要ヲ記シタルモ本ヨリ未ダ盡ササルモノ甚ク多シ、

各隊ハ以上各項ノ實施ヲ確實ナラシムルニ努ムルニナラヌ

一才ニ於テハ下士官兵ニ對シテ出動軍下士官兵衛生心得
 ヲ一層深刻ニ徹底セシメ上下舉テ之レヲ實行ニ努
 ムル等尚ホ幾多最善ノ工夫手段ヲ盡スコト緊要ナリ